広島県告示第933号

瀬戸内海環境保全特別措置法(昭和48年法律第110号)第5条第1項の規定による特定施設の設置許可の申請があったので、同条第4項の規定によって、その概要を次のとおり告示する。

令和6年10月24日

広島県知事 湯 﨑 英 彦

1 申請者の住所及び氏名並びに工場又は事業場の所在地及び名称

申請者の住所及び氏名	広島県広島市南区京橋町1番23号 戸田工業株式会社 代表取締役社長 久保 恒晃
工場又は事業場の所在地及び名称	広島県大竹市明治新開1番4号 戸田工業株式会社 大竹事業所

2 申請の内容

27-ル 無機化学工業製品製造業の用に供する湿式集じん施設5基を設置する。

(1) 特定施設の種類、能力及び使用の方法

(その1)新設

5	種		類				類		類	27-ル 無機化学工業製品製造業の用に供する湿式集じん施設 ((47)湿式集塵施設)		
	能								カ	廃ガスの洗浄能力 57,600 m ³ / 日		
I	工	事	着	手	予	定	年	年 月 日		許可後直ちに		
期	工	事	完	成	予	定	年	月	日	令和6年11月29日		
等	使	用	開	始	予	定	年	年 月 日 完成後直ちに		完成後直ちに		
	使月	月時間	間隔	及び	1 目	当た	りの	使用!	時間	0 時~24 時、24 時間/日		
使			(使用の)季節的	的変動	j)			(季節的変動なし)		

	項		目	通常	最 大
用		水素イオン濃度(単位:オ	(素指数)	7.5~8.5	7. 5~9. 5
0	排等出	生物化学的酸素要求量		30	50
方	出って	化学的酸素要求量	())(1)	80	120
),	れ る 状	浮 遊 物 質 量	(単位: mg/L)	7, 000	10, 000
法	汚態	室 素 含 有 量	m8/ L)	10	20
		燐 含 有 量		3	5
		排出される汚水等の1日あたり (単位:㎡)	の量	0	0. 47
		汚 水 等 の 排 出	先	貯槽(専用業者	者に委託処理)

(その2)新設

種類類								須	27-ル 無機化学工業製品製造業の用に供する湿式集じん施設 ((48)湿式集塵施設)			
,	能力							カ	廃ガスの洗浄能力 43,200 m ³ / 日			
I	工	事 着	手	予	定	年	月	日	許可後	許可後直ちに		
期	工	事完成予定年月日				年	月	日	令和6年]	11月29日		
等	使	用開始予定年月日				年	月	日	完成後	完成後直ちに		
	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)								0 時〜24 時、24 時間/日 (季節的変動なし)			
使	項							目	通常	最 大		
用用	排等	水素イ	オン濃	度(単位	1: 水	、素 指	(数)	7.5~8.5	7.5~9.5		
/13	当の	生物化	学的画	後素 塁	要 求	量			30	50		
0)	れ	化学的	的 酸 差	素 要	求	量	())	6/去。	80	120		
方	汚	る 状 浮 遊 物 質 量 (単位 mg/L)				7, 000	10, 000					
	水態	窒 素	素含有量		,	10	20					

法		3	5
	排出される汚水等の1日あたりの量 (単位:㎡)	0	0. 36
	汚 水 等 の 排 出 先	貯槽(専用業者	旨に委託処理)

(その3)新設

	種				類	27-ル 無機化学工業製品製造業の用に供する湿式集じん施設 ((49)湿式集塵施設)		
	能				力	廃ガスの洗浄能力 43,200 m ³ / 日		
工	工	事 着 手	予 定	年	月 日	許可後	直ちに	
期	工	事 完 成	予 定	年	月 日	令和6年11月29日		
等	使	用 開 始	直ちに					
	使用	時間間隔及び (使用の	1 日 当 た D季節的変動		使用時間		、4時間/日 変動なし)	
	項				目	通常	最 大	
使		水素イオンネ	農度 (単作	立 : オ	(素指数)	7.5~8.5	7.5~9.5	
用用	排等出	生物化学的	酸素要求	量		30	50	
111	出されれ	化 学 的 酸	素要求	量	(W.H.	80	120	
の	る状	浮 遊 牧	 質	量	(単位: mg/L)	7,000	10, 000	
方	おった。大る汚水態	室 素 台	有	量	mg/ L/	10	20	
		燐 含	有	量		3	5	
法		排出される汚z ()	水等の1日で 単位:㎡)	あたり	の量	0	0. 36	
		汚 水 等	の排	出	先	貯槽(専用業制	者に委託処理)	

(その4)新設

種類								ĺ	27-ル 無機化学工業製品製造業の用に供する湿式集じん施設 ((50)湿式集塵施設)			
能 力									廃ガスの洗浄能力 43,200 m ³ / 日			
工	工事着手予定年月日							目	許可後	直ちに		
期	工	事 完	成	予	定	年	月	目	令和6年	11月29日		
等	使	世用 開 始 予 定 年 月 日					月	目	完成後	直ちに		
	使用	時間間隔	扇及び (使用の				使用時	間	<u> </u>	0 時〜24 時、 4 時間/日 (季節的変動なし)		
	項							目	通常	最大		
使		水素イ	オン濃	農度	(単位	江: 水	火素指	数)	7.5~8.5	7. 5~9. 5		
用用	排等出	生物化	学的	酸素	要求	量			30	50		
711	さっ	化学的	勺 酸	素要	東求	量	())()	. r .	80	120		
0	排出される!	浮 遊	物	J [質	量	(単化 mg/I		7, 000	10, 000		
方	汚態	室 素	含	ì 7	有	量	1115/1	۵)	10	20		
		燐 含 有 量							3	5		
法		排出され		く等の 単位 :		ったり	の量		0	0. 36		
		汚 水	等	\mathcal{O}	排	出	先		貯槽(専用業科	皆に委託処理)		

(その5)新設

;	種							27-ル 無機化学工業製品製造業の用に供する湿式集じん施設 ((51)湿式集塵施設)				
	能							-	力	廃ガスの洗浄能力 43,200m ³ /日		
工	工	事	着	手	予	定	年	年 月 日		許可後直ちに		
期	工	事	完	成	予	定	年	月 日 令和6年11月29日		令和6年11月29日		
等	使	用	開	始	予	定	年	月	月	完成後直ちに		

	使用	時間間		1 日当7 季節的変		使用時間		、24 時間/日変動なし)
	項					目	通常	最大
使		水素イ	オン湯	農度 (単	位: 7	(素指数)	7.5~8.5	7. 5~9. 5
用	排等出	生物化	公学的	酸素要	求 量		30	50
) 11	出っている。	化 学	的酸	素要才	さ 量	(W.H.	80	120
0	れ る 状	浮 :	遊 物	質	量	(単位: mg/L)	7,000	10, 000
方	お汚水態	窒	素 含	有	量	ms/L)	10	20
		燐	含	有	量		9	13
法		排出さ		く等の1日	あたり	の量	0	0. 36
			(阜	单位: m³)			_	
		汚 オ	等	の排	出	先	貯槽(専用業	者に委託処理)

(2) 汚水等の処理の方法

変更なし

(3) 排出水の汚染状態

変更なし

- 3 事前評価に関する事項を記載した書面の縦覧期間及び縦覧場所
- (1) 縦覧期間

令和6年10月24日(木)から令和6年11月14日(木)まで

(2) 縦覧場所

広島県環境県民局環境保全課及び広島県西部厚生環境事務所環境管理課並びに大竹市環境整備課